

白根御勅使中学校区(白根源小・白根百田小・白根御勅使中)学校教育目標  
「ふるさとを愛し、生きる力を備えた児童生徒の育成」

1 学校教育目標

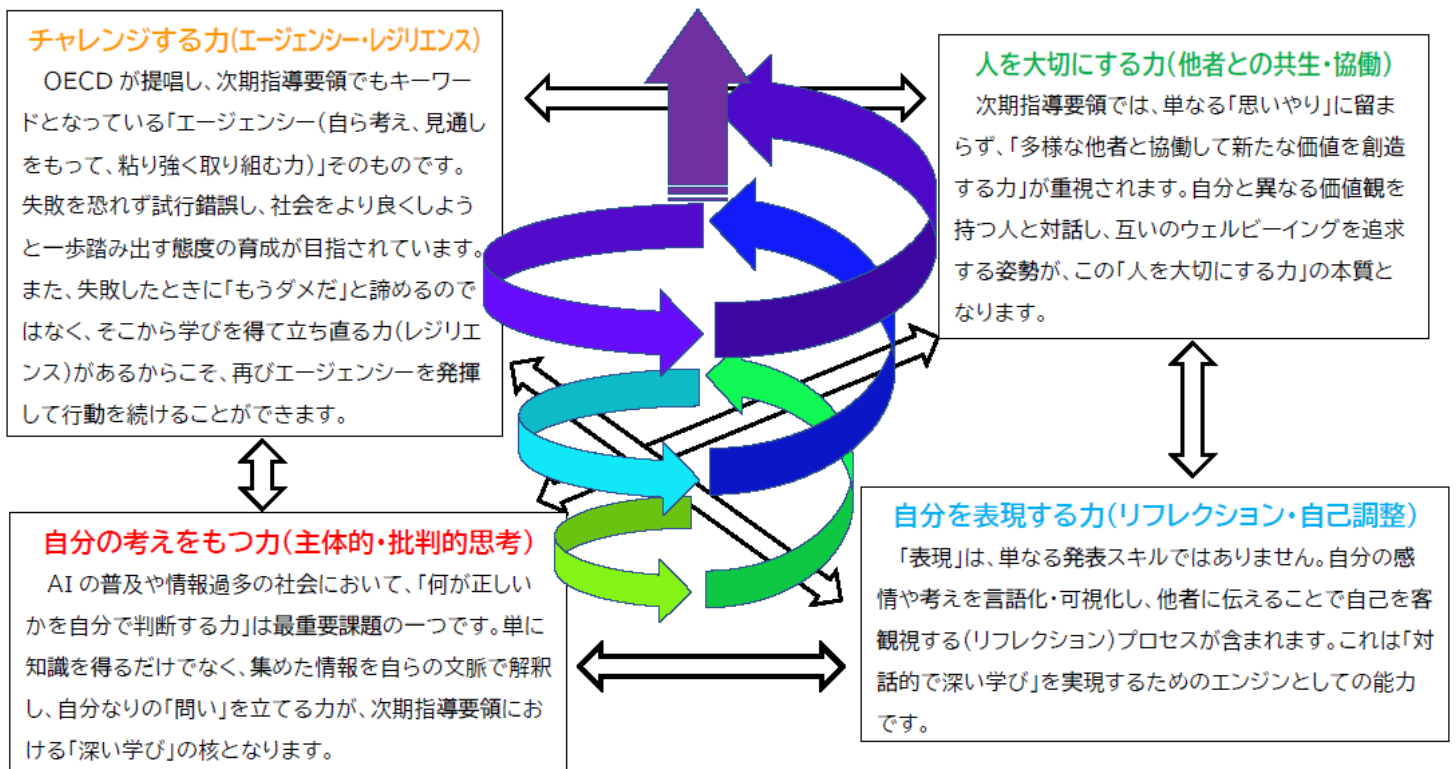
「ふるさとを愛し、人間性豊かに、自ら考え、未来にたくましく生きぬく子どもの育成」

2 白根源小の児童に身につけさせたい4つの力(目指す児童像)

- 「人を大切にする」力(共生・協働)
- 「自分の考えをもつ」力(主体的・批判的思考)
- 「自分を表現する」力(リフレクション・自己調整)
- 「チャレンジする」力(エージェンシー・レジリエンス)

白根源小学校 児童に身につけさせたい4つの力について

ふるさとを愛し、人間性豊かに、自ら考え、未来にたくましく生きぬく子ども



3 白根源小の職員(目指す教職員像)

- ◎意欲に溢れ、教育課題に前向きにチャレンジする職員
  - 子どもの気持ちになって考える教職員
  - 主体的に学び合う教職員
  - 組織(チーム源)で取り組む教職員
  - 保護者や地域住民に信頼される教職員

4 学校経営の基本方針(目指す学校像)

- (1) 学ぶ力を育てる学校づくり
- (2) 安心してのびのびと生活できる学校づくり
- (3) 組織で子どもを育てる学校づくり
- (4) 保護者、地域に開かれた、信頼される学校づくり

## 5 指導重点

### (1) 学ぶ力を育てる学校づくり

- \* 基礎・基本の定着  
(授業の充実、学習規律の確立)
- \* 個に応じた学習指導の充実  
(ICT 機器の有効利用、児童一人ひとりに応じた授業づくり)
- \* 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり  
(対話的な授業づくり、授業改善)
- \* 学び続ける意欲の形成  
(学習課題の工夫、課題解決学習、家庭学習の充実や学習習慣の形成と定着)
- \* 豊かな読書指導  
(朝読書の取組、なのはなの会等による読み聞かせ、たてわり読書、親子読書、読書の日常化推進)

### (2) 安心してのびのびと生活できる学校づくり

- \* 積極的な児童理解の推進  
(全教職員が全校児童に関わる生徒指導、定例校内委員会、関係機関との連携、教育相談機能の充実、Q-U検査や学級力アンケートを活用した学級経営、お互いの良さを認め合える人間関係作り、いじめ・不登校の未然防止、スタートカリキュラムの充実)
- \* 児童会・学級活動の充実  
(自治活動・縦割り活動の推進、集会活動で自分の考えを表現する力の育成)
- \* 健康教育・安全教育の推進  
(保健指導、防災教育、食育推進一校一実践、健康・体力づくり一校一実践活動の推進)
- \* 道徳教育の推進  
(いじめ防止基本計画の周知徹底、地域ふれあい道徳、小笠原流礼法の心を活かした取組)

### (3) 組織で子どもを育てる学校づくり

- \* ふるさと教育の推進  
(南アルプス市や源のよさを学ぶふるさと教育の実践)
- \* 特別支援教育の充実  
(研修の充実、個別の教育支援計画の作成・活用、情報共有)
- \* 課題を抱える児童への組織対応  
(いじめや不登校などへの早めの対応、複数対応)
- \* 小中一貫校としての連携事業  
(あいさつ運動 合唱・陸上指導 御勅使クエスト)

### (4) 保護者、地域に開かれた、信頼される学校づくり

- \* 保護者・地域との連携  
(学校運営協議会、自治会・育成会・源小の子どもを見守る会との連携)
- \* 学習ボランティアの積極的活用  
(保護者・地域の方・市文化財課等の外部講師の活用)
- \* 積極的情報発信  
(学校だより・学年だよりの作成・地域回覧やHP掲載等の活用)
- \* 学校評価の活用  
(アンケートの結果を基にした改善や情報発信)
- \* 交流教育の充実  
(ねらいを明確にしたわかば支援学校・白根保育所等との交流)

## 6 チーム源としての教職員の働き方(チーム担任制の推進)

- \* 学校運営に関する方針や子どもの情報等の共有化
- \* 協働性の向上
- \* PDCAサイクルによる改善
- \* 新たな仕事へのチャレンジと精選
- \* 教職員一人ひとりの個性の発揮

## 7 今年度(令和8年度)の取組

### ① 地域と歩む小中一貫教育の推進と、地域素材を活かした持続可能な教育課程の構築

令和5年度より開始した白根御勅使中学校区での小中一貫教育をさらに推進し、9年間を見通した学びの連続性を確保したい。また、昨年度(令和7年度)に発足した「学校運営協議会」と、今年度設置する「地域学校協働本部」を軸に、保護者や地域の皆様との対話(熟議)を重ねていきたい。本校の教育課題を共有し、地域と学校が一体となった運営を目指す。これまで継続してきた農業体験や「なのはな会」による読み聞かせ、民間企業や行政(小林建設・市文化財課等)による出前授業など、豊かな地域資源を活かした学びを今後も大切に継承する。両組織を核として新たな人材の発掘にも努め、地域に開かれた持続可能な教育課程を編成することで、郷土を学び、郷土を愛する児童を育成していきたい。

### ② GIGA スクール構想・授業改善と教育 DX の推進

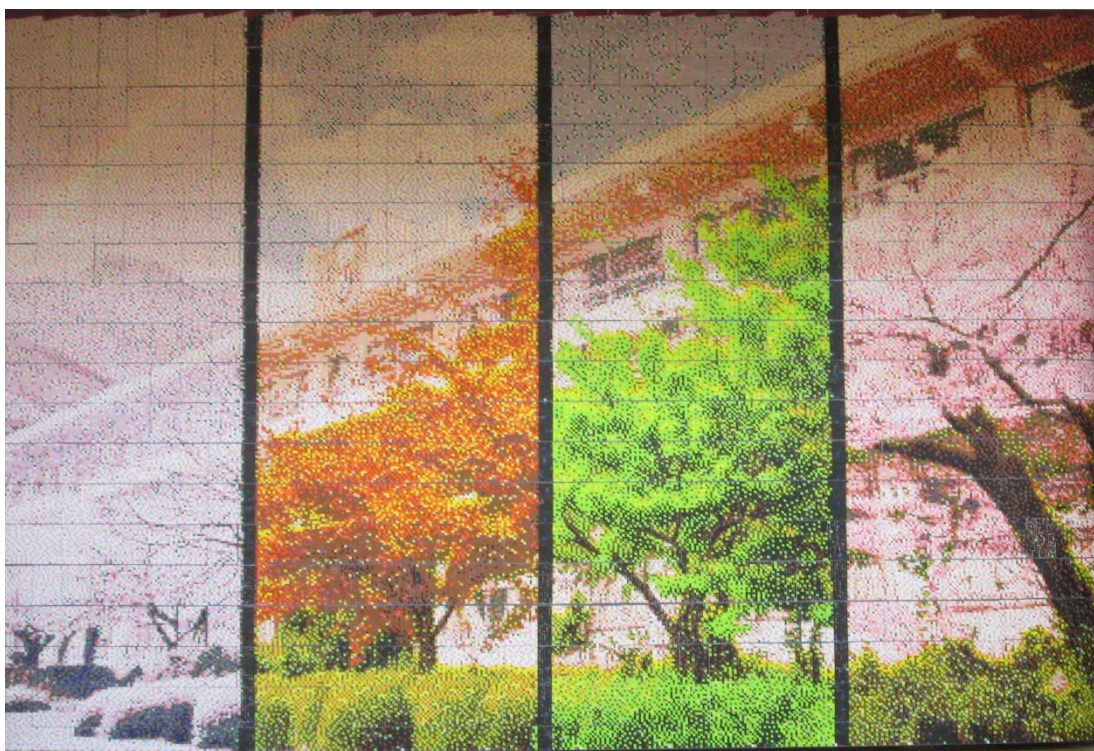
授業内での端末活用やリモートでの使用が実現している。GIGA スクール構想を受け、授業の中で学習のねらいを常に意識し、児童中心の授業づくりに取り組み、授業改善をめざしている。本年度も授業実践していく中で成果と課題を明らかにし、定着を図っていききたい。また、連絡ツール等のさらなる活用、新校務支援システムの導入によるデータの利活用も含めた教育 DX を推進していきたい。

### ③ 「風雨時を得て滋」の精神を基盤とした、個を支える専門的支援と多様な学びの展開

特別支援教育の視点に基づき、個別のニーズに応じた専門的指導と、ユニバーサルデザインを取り入れた『全ての児童にとって分かりやすい授業・集団づくり』を両輪で推進していきたい。あわせて、個々の特性や学習状況に応じて、学ぶ場所や方法を柔軟に選択できる『多様な学び(自己調整できる学び)』を取り入れ、一人ひとりに最適な学習環境を構築したい。『風雨時を得て滋』の考え方に基づき、児童が適切な支援の中で様々な経験や課題を乗り越え、豊かな人格形成を遂げられるよう、教育環境の充実に努めていく。

### ④ 「働きがいのある」環境の整備

チーム体制を確立するために、ブロック担任制の推進、休暇制度の有効活用、前例主義に陥らない教育活動の展開等により、教職員のウェルビーイングと教育活動の質の向上を目指していきたい。



白根源小学校創立150周年記念企画・全校制作(児童・教職員・保護者・地域全体で作成)